

秋高連

27年度総会・交流会



(第4回総会は26年4月にアルカディア市ヶ谷で開催)

期 日 平成27年4月18日(土)
時 間 午後10時30分・開 始
場 所 アルカディア市谷・6F 霧島の間
(東京都千代田区九段北4丁目2番25号)
(TEL 03-3261-9921)
主 催 在京秋田県高等学校同窓会連合会

秋 田 県 民 歌

倉田 政嗣 作 詞
高野 辰之 校 閲
成田 為三 作 曲

しゅうれいむひ
1. 秀麗無比なる 鳥海山よ

きょうらんぼ
狂瀾吼え立つ 男鹿半島よ

しんぴ
神秘の十和田は 田沢と共に

な え ほこり こすい
世界に名を得し 誇の湖水

さんすいみな し
山水皆これ 詩の国秋田

めぐ やまやま れいき
2. 廻らす山山 靈気をこめて

おの ねひび せんこ びりん
斧の音響かぬ 千古の美林

ちか こうみやく むげん ほうこ
地下なる鉱脈 無限の宝庫

みわた ひろの びょうぼうかす
見渡す広野は 渺茫霞み

こがね みの ゆた
黄金と実りて 豊けき秋田

あつたね しんえい きょじん おしえ
3. 篤胤、深淵 巨人の訓

くおん かがや ほくと
久遠に輝く 北斗と高く

きんき まも ぼしん はえ
錦旗を護りし戊辰の栄は

やどめ じょうとう かお
矢留の城頭 花とぞ薫る

れきし ほまれ
歴史はかぐわし 誉の秋田

みんぞくすぐ しつじつごうき
4. 民俗勝れて 質実剛毅

じち たい
正義と自治とのさとしを体し

じんざいあまね はぐく
人材遍く 育みなして

さん りそう も われら
燦たる理想に 燃え起つ我等

しじゅん きょうど ひら
至純の郷土と 拓かん秋田

【総会】

27年度 総会次第

1. 総会開会 (10時30分開始) 県民歌1番斉唱
(司会者・近江 彰 副幹事長)
2. 議長選出 (司会者の役割)
3. 議長就任挨拶 (代議員)
4. 資格審査報告 (水沢 誠一 副会長)
5. 会長挨拶 (岸本 六蔵 会長)
6. 議事開始 (10時45分～11時45分)
 - (1) 26年度活動報告 (提案審議)
(提案 三平俊悦 幹事長)
 - (2) 26年度決算 (提案審議)
(提案 三平俊悦 幹事長)
 - (3) 会計監査報告
(会計監査報告 柿崎直和 監事)
 - (4) 細則の新設
(提案 三平俊悦 幹事長)
 - (5) 27年度活動方針(案) (提案審議)
((5)(6)一括提案、三平俊悦 幹事長)
 - (6) 27年度予算(案) (提案審議)
7. 議長降壇挨拶 (代議員)
8. 総会閉会 (司会者・近江 彰 副幹事長)
(11時45分終了予定)
9. 事務局連絡 (司会者・近江 彰 副幹事長)
(準備の都合上15分間休憩します)

【交流会】

27年度 交流会次第

12時00分開始

1. 開 会 ・ 司 会……三平俊悦 幹事長
2. 会 長 挨 拶……岸本 六蔵 会長
3. 乾 杯……澤木 誠一 顧問
4. 懇 談
5. 参 加 者 紹 介……水沢 誠一 副会長
(顧問団、県北8校、県央13校、県南12校)
6. 民 謡 タ イ ム……民 謡 歌 手 山形 俊男(秋田工高)
伴奏・三味線 三浦 晃(秋田工高)
尺 八 嵯峨 良平(秋田工高)
7. 懇 談
8. カラオケタイム……3地区6名代表
9. ふ る さ と 合 唱……女性コーラス・フルート 嵯峨 良平(秋田工高)
10. 閉 会……栗盛信太郎 副会長
交流会 14時00分終了

27年度の総会開催にあたって

在京秋田県高等学校同総会連合会
会 長 岸本 六蔵

昨年の総会で役員が改選され新執行部として発足して1年がたちました。

恒例の三大行事の一つふるさと訪問が直前に訪問を予定していた高校の増改築工事が遅れ受け入れ態勢が整わなくなり本年に延期しました。

その間7月に、第2回目の「親睦ゴルフコンペ」、9月に初企画として小旅行「初秋ミニハイク」を実施し大勢の会員の参加がありました。

10月に国民文化祭応援ツアーとして「国民文化祭あきた2014」の開会式に首都圏秋田県人会連合会と共同で開会式に参加しました。その後2泊3日で「秋高連・秋田県南歴史と湯けむりツアー」の旅をしました。11月にはフェスタを予定どおり実施ご来賓38名とあわせ318名の参加者でした。

秋高連は今年で30周年を迎えます。「振り返れば未来」という言葉があります。30数年前秋高連の諸先輩方が、歴史と理念の違いがある各同窓会が連合会として連帯し発足を可能にしたのは底流にあるふるさとを同じくするもの同士が抱く郷土愛が脈々と流れているからと考えます。この得がたい貴重な連帯の絆を大事にし、更に親睦を超えた新しい交流の形を求めて行きたいと考えます。

30周年記念行事委員会を発足し準備に入ります。会報第5号を「30周年記念号」として発行、11月のフェスタで記念講演を企画しております。

引き続きこの1年皆様の暖かいご指導とご支援を頂けます様お願い申し上げます。



総 会 目 次

司 会 者	近江副幹事長
議 長 登 壇	議長就任挨拶
資格審査報告	水沢副会長
会 長 挨 拶	岸本会長
総 会 開 会	一般議案の提案・三平幹事長

1. 26年度 活動報告
2. 26年度決算および会計監査報告
3. 細則の新設(案)
4. 27年度事業計画(案)
5. 27年度予算(案)

議 長 降 壇	議長降壇挨拶
連 絡 事 項	司会者(交流会移行案内)

秋高連・27年度 総会提案・議案内容

I. 26年度の活動報告

1. 会務報告

26/4月	25年度会計監査(3日)役員会No.11(3日) 国文祭あきた首都圏応援団役員会No.1(9日)26年度総会・交流会(19日) 首都圏県人会連合会26年度総会(20日)
5月	役員会No.1(1日)国文祭あきた首都圏応援団役員会No.2(7日) 運営委員会No.1(22日)
6月	国文祭あきた首都圏応援団役員会No.3(6日)
7月	国文祭あきた首都圏応援団役員会No.4(11日)愛好者ゴルフコンペ(18日)
8月	役員会No.2(2日)運営委員会No.2(2日)ミニ講演会秋田県庁(少子化問題) 国文祭首都圏祭り(6日~10日)首都圏県人会連合会暑気払(23日)
9月	国文祭あきた首都圏応援団役員会No.5(5日)雄物川高関東支部総会(20日) 役員会No.3(8日) 首都圏県人会連合会芸能発表会(13日)、会報4号発行(26日)
10月	国文祭あきた開会式(4日)「秋田県南・歴史と湯けむり探訪ツアー」(5日・6日) 役員会No.4(10日)運営委員会No.3(10日)
11月	フェスタ実行委員会役員会No.5(5日)フェスタ現地打合せ役員会No.6(17日) 秋高連「25年度フェスタ」(25日)
12月	役員会No.7(16日)秋田県東京事務所訪問(フェスタチャリティ募金の寄付)(16日)
27/1月	在京ふきのとう会(11日)役員会No.8(15日)在京県人新春交歓会(15日)
2月	役員会No.9(6日)
3月	国文祭報告会(2日)役員会No.10(18日)運営委員会No.4(18日)
4月	26年度決算会計監査(10日)役員会No.11(10日) 27年度総会・交流会(18日)

2. 事業報告

(1) 個別活動の概要と評価

① 機関運営の概要と評価

機関運営については、年度初めの役員会で年間日程計画を確認し、役員会(11回)および運営委員会(4回)を開催し方針の具体化、イベントの実施要綱、構成組織への支援要請等を行なう場としては十分に機能していると考えておりますが、役割期待として充実させたレジメを持ち帰り、組織内で如何にPRしていただくかが鍵になります。

参加動向については、地域差や、目標未達はあったものの、良好な協力を頂いたと評価しています。

ただし、情報の共有化の立場から、都合で欠席した組織にはレジメや資料等を後日郵送する等、丁寧さは継続してきたところです。

② 部会長からの活動報告

(ア) 近江・神馬総務担当会長(アドバイザー三平幹事長)

現状の動向について理解を求めた。

部会員は石谷洋子、中山文夫(県南)、佐々木進(県央)

(イ) 鎌田組織担当部長(アドバイザー栗盛副会長)

26年度は、6月の部会を開催するも、メンバーが揃わず出来なかった。

以下の課題を整理、方向性を定めて役員会に提起したいと考えている。

*未加盟校対策 *友好組織の取り扱い基準 *総合校対策 *本部同窓会対策
部会員は鎌田祐七(県北)、畑沢富美夫(県央)

(ウ) 古川広報担当部長(アドバイザー長瀬副会長)

第5号会報は、紙面は8ページで構成、担当を決めて編集会議までに原稿を持参する事にした。

その後イラストレーターの高木さんの協力を得て、印刷所や編集委員とのメールのやり取りをしながら、レイアウトや構成を進め、9月26日の発行にこぎつけた。

部会員は宮腰良一(県央)、高木一美(県央)、藤原和広(県南)

(エ) 武内文体担当部長(アドバイザー水沢副会長)

①ゴルフコンペの開催については、今回文体部扱いとせず、役員会の判断で試行することで開催し、32名のエントリーで賑やかに親睦を深めることが出来たので、継続を前提に、次年度はゴルフに限らず、幅広い趣向について検討する事にしたい。

②秋高連では、例年の「ふるさと訪問」にかわり、「初秋ミニハイク」として下記の交流の集いを企画しました。

初秋交流ミニハイキング&秋田の歴史・文化in浅草(水上バス利用)

部会員は田中義雄(県北)、高橋和美、小林隆子(県南)

(オ) 大森会計担当部長(アドバイザー岸本会長)

従来会計は、会長が担当していたが、今年度から会計担当役員が独立して担当し、業務の分野を明確にした。

③ 主要イベントの概要と評価

(ア) 平成26年度総会・交流会の概要と評価

日 時:平成26年4月19日(土)13:30~14:30

場 所:アルカディア市ヶ谷 穂高の間

参加者:役員16名、代議員(65名)、オブ参加(2名)

招待者:顧問(2名)、相談役(3名)

内 容:1、25年度活動報告および25年度決算および会計監査報告

2、会則および運営細則の一部改正(補充)

3、26年度事業計画(案)および26年度予算(案)

会則で総会方式を取り入れて4回目を迎える事になりますが、名実ともに、総会らしさの条件整備が都度進み、議論府としての総会に整った。
 当然な事です、内輪だけで構成する会員のみの総会でありますので、いまして活発な議論が交わされてもとの思いがあり、この点が宿題として残っていると考える。
 一方、交流会は3地区あるいは同総会を越えた親睦を願いながら、今回は女性コーラスの登場で盛り上がり、エンディングでは、会員同士で肩組み合う場面も見られ、絆の深化が図られているとの感触を得る事ができた。



(26年度総会)

(イ)第3回親善ゴルフコンペの概要と評価

昨年と同じ場所で2回目を開催しました。
 高橋前会長のホームコースで、高橋前会長には設営から運営まですっかりお世話になりました。
 東京からの送迎バスでの参加者20名は帰路のバスの中で各校の校歌を歌い、楽しく過ごしました。
 主な成績は以下の通りです。

日 時:平成26年7月18日

場 所:茨城県「日立高鈴ゴルフ倶楽部」

参加者:32名

主な成績	優勝	齋藤 新吉	(大曲農高)	6位	齊藤 志都磨	(大曲農高)
	2位	三平 俊悦	(秋田工高)	7位	岸本 六蔵	(秋田商高)
	3位	大島 孝子	(湯沢翔北高)	8位	杉山 孝治	(秋田工高)
	4位	菅原 進	(明桜高)	9位	大沢 誠	(秋田商高)
	5位	博田 征夫	(大曲農高)	10位	小松 倫人	(本荘高)



(第2回愛好者ゴルフコンペ参加者一同・日立高鈴G C)

(ウ)小旅行

秋高連では、例年の「ふるさと訪問」にかわり、「初秋ミニハイク」として下記の交流の集いを企画しました。

初秋交流ミニハイキング&秋田の歴史・文化in浅草(水上バス利用)

浅草神谷バーでは、得意ののど自慢の披露がたくさん出て、実に楽しいひとときでした。

日 時:平成26年9月3日(水)14時~19時

行 程:浜松町駅集合→日の出桟橋→浜離宮→浅草吾妻橋→神谷バー(会食)

参加者:18名



(竹芝桟橋に集合)



(浅草・神谷バーで懇親会)

(エ)国民文化祭あきた首都圏応援団(会長・幹事長・役員)

①平成26年10月4日(土)14:30～秋田県立武道館にて、国民文化祭開会式が皇太子殿下ご臨席のもと、盛大に行なわれました。

参加者は、各団体「秋高連、首都圏秋田県人会連合会、わか杉会、けやき会、男鹿の会、秋田ふるさと応援団、東京ふるさと館(S37C)文化会議」の皆さん、総勢202名(内秋高連80名)です。

②「国民文化祭応援ツアー交流・懇親会」

イヤタカで19:30～堀井秋田県副知事を始め、総勢136名の出席で盛大に開催されました。

関係者挨拶、乾杯の後、次々とアトラクションが演じられ、楽しいひと時を過ごしました。

③10月5日(日)～6日(月)の二日間、秋高連主催の「秋田県南歴史と湯けむり探訪ツアー」に参加しました。参加者は、秋高連、秋田ふるさと応援団総勢27名。

高校別に、秋田工高関係者10名、角館高4名、横手高4名、秋田北高関係者3名、秋田商業1名、秋田高1名、秋田中央高1名、秋田南高1名、湯沢高1名、雄物川高1名。

2日間で15箇所をめぐり、最終地湯沢駅には17:00に到着し、現地解散となりました。帰京組は奥羽線で新庄まで行き、18:43新庄駅発の山形新幹線つばさ158号で東京に向いました。



(横手市・あいのの温泉「鶴が池荘」)

(オ)26年度「フェスタ」の概要と評価

日 時:平成26年11月25日(火)17時～21時

場 所:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

内 容:第一部 講演会(17時～)5F 阿蘇の間(講師 佐藤哲男・薬学博士・秋田中央高卒)

第二部 交歓会(18時～)3F 富士の間

第三部 チャリティ(18時～)3F 富士の間

参加者:来賓、招待者38名、構成組織会員280名

秋高連の最大のイベントである「フェスタ」は構成組織の理解と協力を得て、年々内容が充実してきている。

①11月は構成組織が参加するイベントが多いとの背景があり、会員300名の集いには至らなかった。秋高連、年1回の最大のイベントであり一層のPRが必要である。

そのためには、「参加して楽しい集い」が必要条件であり、常に新しいアイデアの導入を検討したい。

③招待者として、各分野で活躍する在京県人の発掘を継続する。

④フェスタは「マニュアル」に基づき、円滑な運営を目指しており、年々充実したものとなってきているが、未達部分については機関での反省と議論に基づき、次年度の実行委員会で消化について引き継ぐ事にする。

⑤若手の参加を奨励する方策を中期的視点で役員会での具体化をはかる。

例えば、当面のアイデアとして、初めての就職者(10名程度)を招待する等。



(講師・佐藤哲男氏)



(26年度フェスタ)



(26年度フェスタ)

(2)部活動全般の総括

現在、定着運営されている秋高連の組織体は、平成22年度当初に確認された事業方針を踏襲してきているものであって、その根幹は、結成25周年記念の検討委員会(鈴木猛委員長)の答申内容が基本となっており、「秋高連らしさの醸成」「深化に向けたチャレンジ」を全面的に、慎重に丁寧に積み上げ、定着する過程にあります。

秋高連が掲げてきた三大イベントも、5年目にあたり、定着と内容の充実化に向けて取り組み、会員の皆さんの理解と協力で円滑な運営が図られたと評価しています。

具体的には、春の総会(4月)新緑のふるさと訪問(7月)晩秋のフェスタ(11月)等は、具体的には定着化が進み、他方では内容に様々な工夫を施して、愉しさと一体感を深められていることは、継続性の点からも重要なポイントであると考えています。

すべて参加率は評価の対象となりますが、未達部分については、常に目標値を掲げ、判りやすい形で協力を促す姿勢を堅持し、到達した喜びを一緒に味わいたいものです。

会員同士の融和と組織の裾野を広げる一策として、愛好者親睦ゴルフの集いが好評を得ましたので、昨年に引き続き開催しました。一方、新たなチャレンジとして「ミニハイク」を初めて実施しました。次年度に引き継ぎたいと考えております。

さらに、組織内外へPRとして6年前に発行した会報も大きな役割を果たしてきましたが、情報通信の進化に伴い、秋高連もその強化策として、部会でもホームページの開設は積極的にとの提案を受け、役員会確認のもと、平成24年10月「秋高連ホームページの開設」が叶いました。

今後、タイムリーな更新を行ない発信しますので、より多くの会員の皆さんに活用してもらいたいと望んでいます。

ホームページアドレスは次の通りです。(http://akikoren-zaikyo.jp/)

II. 26年度の決算(平成26年4月1日～27年3月31日)

1. 一般会計の決算概要

予算管理とイベント内容の充実化の狭間でコストプッシュを最優先に取り組み略収支均衡の取れた内容となった。

総対的には総会および交歓会を挟むフェスタの2イベントは嬉しい収支の方は拮抗してきており今後どの様な方向で進むか実行委員会や事務局を通して検討が必要と考える。

具体的には年会費や名刺広告代は年度末までに粘り強くお願いした結果略協力を頂いた。総会費は総会議案書代を取り込んだため実行ベースではで支出超えとなる。

フェスタ関係では収支とも予算減、実行ベースでは支出の若干超えとなった。

他の費目については支出面では略予算内、収入面では予算増の費目が多かった。

(1) 収入の内訳

収 入 の 部			
費 目	当年度予算	当年度実算	備 考
前年度繰越	338,706	338,706	
年 会 費	350,000	340,000	34校×10,000 円
総会参加費	784,000	588,000	33校参加、オブ参加5名
交歓会参加費	2,640,000	2,544,000	280名、(他に来賓38名)36校参加、
会 報 収 入	210,000	180,000	広告代・18コマ×10,000円
雑 収 入	50,000	72,264	会議終了後の懇親会差額分の繰り入れ増
受 取 利 息	50	48	
収入計	4,372,756	4,063,018	

(2) 支出の内訳

支 出 の 部			
費 目	当年度予算	当年度実算	備 考
総 会 費	784,000	602,114	
交 歓 会 費	2,600,000	2,600,695	
会 議 費	68,000	88,059	会議開催増
通 信 費	60,000	28,564	開催通知等
印 刷 費	150,000	109,815	会議資料の印刷費
会 報 費	160,000	199,527	第4号発行費
事 務 費	50,000	62,316	書類袋(大小)の印刷
交 流 費	80,000	30,000	定例行事 5 件、記念総会2件に参加
貢 献 費	70,000	0	なし
雑 費	15,000	6,413	HP年間メンテ費
予 備 費	335,756	0	
支出計	4,372,756	3,727,503	
収支差額	0	335,515	

(3)収支差額金の処分案について

収支差額金335,515円は全額次期繰越金とします。

2. 26年度特別会計収支決算表

費目	収入金額	支出金額	摘要
前年繰越額	25,358		
募金額	107,291		
"			
"			
"			
寄付額		50,000	秋田県高等学校文化活動費
"		57,291	秋田県高等学校体育活動費
"			
合計金額	132,649	107,291	
次期繰越額		25,358	

特別会計はチャリティ募金とその寄付金行為を内容としており、毎年11月末に行なう「秋高連フェスタ」で募金を行い、年末までには、秋田県の高等学校の発展に貢献することを目的として、秋田県高等学校文化連盟・秋田県高等学校体育連盟に対して、秋田県東京事務所を經由して寄付を行ないました。本年も残額(25,358円)については次年度に繰越を致します。

3. 会計監査報告

- 1) 監査年月日 平成27年4月10日
- 2) 監査対象期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日
- 3) 監査結果
 - ①現金・預金 平成27年4月10日現在で、現金手元有高、郵便預金通帳と残高照合の結果、適正であり、相違ない事を確認した。
 - ②帳票類 平成27年4月10日現在、会計帳票簿類は正確かつ適正に処理されている事を確認した。

会計監査 柿崎 直和 印
" 山田 雅子 印
" 佐藤 正義 印

III. 会則細則の一部改正

1. 細則(会計事務及び事務の引継ぎ)の一部改正

会計担当者の事務所所在地の特定のために以下のとおり一部改正する。

細則第3条(会計事務及び事務の引継ぎ)

- 3項 会計事務は会則第6条1項に定める会計担当役員があたり、会計に関する金融機関の口座の管理を行なうものとする。

IV. 27年度事業計画および予算(案)

1. 事業計画の基本的な考え方

事業計画の策定にあたって「秋高連らしさの発揮」と「常に深化を遂げられる組織」をベーススローガンとして、次の事柄を基本的な考え方として進めます。

1) コアとなる三大イベント(総会、ふるさと訪問、秋高連フェスタ)は基本的に内容等の深化策は都度精力的に積み重ねていくことにします。

なお、会員の親睦促進で始めたゴルフコンペ、ミニハイクは継続することにします。

2) また本年は「秋高連結成30周年」を迎えることから「30周年記念事業実行委員会」(委員長長瀬副会長)を発足し、記念講演・功労者表彰・会報(記念号)の発行等記念事業としてフェスタの開催時期に合わせて実行します。

3) 揺るぎ無い組織を目指ししくみと運営体制のさらなる定着化を図ります。

その手段として年間スケジュールに基づく機関(役員会・年間10回、運営委員会等・4回)を開催し事業計画の促進を図ります。特に部会が持つ課題の解決を含め事務局ワーキングの活性化に努めます。

4) 在京同窓会の総連合に相応しい「秋高連」であるために各同窓会との連携を深めます。特に課題を抱える在京単位同窓会については地区連絡会がアドバイザーとなって組織強化のお手伝いをしながら秋高連グループへの連帯感の醸成を図ることに致します。

さらに、県内高校の統廃合が進む中、新規校同窓会に統合を図る努力がなされていますが、在京同窓会の要請に基づき「スムーズに統合が図られたモデル同窓会」等との情報交換の場を設定いたします。

5) 在京秋田県人の融和とふるさと支援の立場で秋田県に係る諸団体等の研修・連携・交流はこれまでと同様に推進致します。

特に首都圏県人会連合会とはこれまでの実績を踏まえ緊密な連携を取りながら活動の相乗効果を生み出す工夫を重ねることに致します。

さらに首都圏における県行政の司令塔でありふるさと情報の発信源でもある秋田県東京事務所とは形式的な運営・情報交換に止まらず戦略的な運営により実効有らしめる形を模索します。

2. 具体的な事業内容 [総会終了後担当機関で、2)以降は詳細を決定する]

1) 第5回 総会&交流会の開催

名 称: 秋高連・平成27年度・第5回総会&交流会

開催日時: 平成27年4月18日(土)10:30~14:00

場 所: アルカディア市ヶ谷 6F 霧島の間

時間割振: 総 会10:30~11:45

交流会12:00~14:00

内 容: 総会は活動経過、決算、細則の新設、事業計画、予算。

交流会は秋高連組織内参加者の親睦交流に相応しい内容とする。

参 加 者: 役員、代議員(運営委員1+総会代議員2+オブ参加+顧問団)

参 加 費: 一人当たり7,000円

2)ふるさと訪問

第4回目を迎える「ふるさと訪問」は県内3地区を1巡し今回は県南地区として、前は横手・湯沢地区だったので今回は仙北地区(大曲・角館)を計画しましたが、訪問予定高校舎の増改築計画が遅れ受け入れ態勢が整わないことから延期しました。

本年も工事が遅れていることから、訪問先を本荘高、由利高、矢島高に変更することにしました。

実施時期は原則「大人の休日倶楽部」割引期間との関係で7月2日、3日の予定。

詳細内容は総会承認を得て役員会後に募集要綱を決め5月中旬には各組織に案内予定。

名 称:秋高連・平成27年度ふるさと訪問(県央地区)

開催時期:平成27年7月2日、3日の1泊2日(ジパング割安実施期間を予定)

訪問場所:県央地区(候補地、本荘高、由利高、矢島・鳥海山周辺温泉観光地宿泊)

集合解散:現地集合、現地解散(実家帰郷を含めフリータイムを考慮)

参加者:総勢20名程度(役員、運営委員、希望会員、ご夫婦参加大歓迎)

3)秋高連・第3回ゴルフコンペの開催

昨年7月の親睦ゴルフが好評だったことから継続する事にし、以下の内容で実施する事に致します。

多くの皆さんが参加して親睦を深められることを期待しています。

なお、詳細は5月中旬頃のご案内となります。

名 称:秋高連・第3回親睦ゴルフコンペ

開催日時:平成27年7月31日(金)10時～

開催場所:日立高鈴ゴルフクラブ・(茨城県常陸太田市)

開催内容:18ホールストロークプレー

参加者:秋高連会員及び家族8組32名

参加費:参加者負担(金額は開催場所決定後)

4)小旅行

ミニハイキングとして、首都圏近郊の観光地を旅することを文体部が企画し実施する予定。

開催日時:平成27年9月

開催場所:ミニハイクに相応しい場所を検討、「小江戸・川越散策」「古都・鎌倉～江ノ島探訪」等が候補地としてあがっている。

5)27年「秋高連・フェスタ」の概要

フェスタのスタイルとなって5回目。内容は第1部講演、第2部交歓会、第3部チャリティの構成を基本とします。

11月第4週に開催、2ヶ月前に会報を織り込み開催の案内を致します。

参加者の目標として来賓招待者50名、在京同窓会員300名とし、活躍する在京の県産業人の発掘に努めます。参加費は秋田産品を全員に手土産として用意する事を前提にした8,000円を継続致します。

27年度フェスタの概要案は以下の通りで総会終了後の役員会で「30周年記念事業実行委員会」行事として講演者に秋田県知事又は、秋田県出身の著名人による講演で盛り上げを検討、基本計画を含め30周年実行委員会で詳細を確定していきます。

名 称:平成27年度「秋高連・フェスタ」

開催日時:平成27年11月30日(月)17時～21時

開催場所:アルカディア市ヶ谷3F 富士の間

開催内容:第1部 講演 17時～

第2部 交歓会 18時～

第3部 チャリティ 20時～

浄財は昨年と同様、秋田県の高校の文化・体育向上発展への寄付を行なう。

参加者:来賓、招待者50名+在京同総会会員300名

参加費:一人当たり8,000円

V.27年度予算(案)

1. 一般会計

(1) 編成方針

最近の収支動向から言える事は以下の通りです。

- ①総会も5回目を迎えますが参加費については据え置きます。
- ②総会及びフェスタの内容充実策が進み参加費と支出コストとの関係は略均衡状態となっていることに留意し参加者規模の増大を図ります。
- ③同窓会運営の二極化が懸念される実情に加え県内高校の統廃合に伴う同窓会の融合には多少時間を要する現状で在京同窓会にも少なからず影響を及ぼし始めておりフェスタを通じた同窓会本部とのコンタクトは重要。
- ④事務局への負担増が続く中での更なるコストプッシュは難しいが質的低下に留意し深化と効率化を進めます。
- ⑤事務局ワーキング等で中期財政見通しの試算と対処策の提起を致します。等々を勘案しながら以下の予算(案)を策定しました。

(2)収支予算表(平成27年4月～平成28年3月)

収 入 の 部			
費 目	26年度予算	27年度予算	内 容 説 明
前期繰越金	338,706	335,515	
年会費	350,000	330,000	33校の納入見込み
総会参加費	784,000	812,000	(出席者+役員)×参加費 7,000円
交歓会参加費	2,640,000	2,800,000	招待者50名、会員300名、参加費 8,000円
会報収入	210,000	500,000	名刺広告 50区画×10,000=500,000円
雑収入	50,000	50,000	各種会議懇親会の差額繰り入れ
受取利息	50	50	
収入計	4,372,756	4,827,565	

支 出 の 部			
費 目	26年度予算	27年度予算	内 容 説 明
総会費	784,000	812,000	飲食代、室料、雑費等
交歓会費	2,600,000	2,800,000	飲食代(8,000円_350名)室料、謝礼、通信・印刷費
会議費	68,000	80,000	会議室料(8回/年)、会費(理窓会)
通信費	60,000	60,000	会議案内・レジメ等郵送代
印刷費	150,000	150,000	総会議案書、各種会議レジメ、案内状および資料等
会報費	160,000	500,000	会報5号印刷代(外注)
事務費	50,000	60,000	大小封筒、消耗品類
交流費	80,000	80,000	対外定例招待、組織対策
貢献費	70,000	30,000	ふるさと訪問校2校
雑費	15,000	10,000	
予備費	335,756	235,565	
支出計	4,372,756	4,827,565	

(3)収支予算表の説明

1) 収入サイト

- ①年会費は略26年度の実績値を参考に33校としました。
- ②イベントの動員に協力を求め、総会は代議員を含め99名(33校×3人、他に役員17名)の参加の要請をお願いします。
- ③フェスタは会員300名の目標を含め350名(会場収容人員の最大値)の参加要請。
- ④会報(30周年記念号)の収支は広告代で賄いたい、記念号で内容充実ため費用増、広告収入は従来の加盟校ではカバー出来ないの新しいスポンサー確保探しにご協力を願います。
- ⑤雑収入の殆どは、諸会議後の参加者負担方式による懇親会収支の差額繰り入れ依

存している実態。

しかしながら、参加者への負担軽減措置も考慮し適正な参加費の設定や、女性に対する配慮等に引き続き心掛けます。

2)支出サイト

総会は略26年度の実施内容を踏襲しましたが、フェスタは30周年記念行事を踏まえ増員しました。

何れも人員の増減でツウペイの関係にあるが、充実化による経費の膨張傾謝礼等の分野が大きくなり実行面で極力調整機能を発揮する。

- ①会報(記念号)発行費増、広告スポンサー探しに努める。
- ②事務費の書類袋の発注期は極力抑える。
- ③会員並びに对外への情報発信の重要性から「秋高連ホームページ」活用。
ホームページへはこちらから → <http://akikoren-zaikyo.jp/> です。
- ④交流費の組織内外への参加は極めてPR効果に優れており且つ相互乗り入れの習慣等も考慮して対応します。昨年同様8件に絞り計上しました。
- ⑤貢献費はふるさと訪問時に学校への記念植樹を行っておりこれまでに5校(横手清陵学院高、湯沢翔北高、大館国際情報学院高、秋田北鷹高、能代松陽高)本年は2校を計上しました。

26年度～27年度 秋高連役員体制

会 長	岸本 六蔵(秋田商業高)	
会長代行	武石 鉄昭(米内沢高)	
副 会 長	栗盛信太郎(大館鳳鳴高)	水沢 誠一(秋田中央高)
"	長瀬 良市(湯沢高)	
幹 事 長	三平 俊悦(秋田工業高)	
副幹事長	神馬 信一(能代工業高)	武内 暁(秋田高)
"	古川 詳子(秋田北高)	鎌田 茂(大曲農業高)
"	近江 彰(雄物川高)	
会 計	大森 素弘(秋田南高校)	加藤 文麿(金足農業高校)
"	藤井 亮子(大曲高)	
監 事	柿崎 直和(花輪高)	佐藤 正義(本荘高)
"	山田 雅子(湯沢翔北高)	

顧 問	佐々木富也(湯沢高)	澤木 誠一(秋田工高)
"	友成 穂秀(能代西高)	柴田 秀二(横手高)
"	(新)高橋 実(横手工高・横手清陵学院高)	(新)大野 省治(秋田高)
相 談 役	布田祐五郎(鷹巣農林高)	榎 利美(秋田南高)

秋高連(在京秋田県高等学校同窓会連合会)

会 長 岸 本 六 蔵

〒156-0043 世田谷区松原3-27-7-A-10
(携帯 090-3203-5092) (FAX 050-3737-3005)
Email kishimoto1046@gmail.com

会長代行 武 石 鉄 昭

〒162-0074 東京都新宿区北新宿1-32-20^ハ テナ北新宿502
(携帯 080-5011-5830) Email takeishi@w2.dion.ne.jp

【事務局】 幹事長 三 平 俊 悦

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹855-3
(携帯 090-6930-1389) (T/F 044-852-0891)
Email shunmihira1945@gmail.com